

第3回漢方教室（漢方）

花粉症も漢方でスッキリー漢方薬は眠くならないー

I. アレルギー性鼻炎は現代国民病？

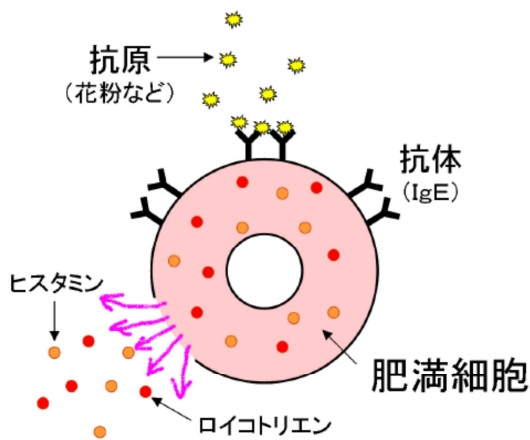
- 1 アレルギー性鼻炎（花粉症も含む）の発症率
幼児：7.5%、小児：25%、成人：22%（およそ4～5人に1人）
- 2 他のアレルギー疾患の発症率
気管支喘息：幼児：4.5%、小児：4%、成人：1.7～3%
（40～50年前には全人口の1%前後であるといわれていた）
アトピー性皮膚炎：乳児：15%、幼児：10%、小児：5%、成人：3%
→ 過去10年間に20～50%の率でアレルギー疾患が増加している
- 3 アレルギー体質は遺伝する
両親がともにアレルギー：子供の約1/2がアレルギー
どちらか一方の親にアレルギー：子供の約1/5～1/3がアレルギー
どちらにもアレルギーがない：子供の約1/10がアレルギー
- 4 全患者に対するアレルギー患者の割合（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）
アレルギー性鼻炎（花粉症も含む）：5.6%
アトピー性皮膚炎：2.3%
気管支喘息：1.4%
じんましん：1.0%

II. 花粉症とはどんな病気？

- 1 花粉症の三大症状
 - ・くしゃみ
 - ・鼻水
 - ・鼻づまり
- 2 検査
 - 1) 鼻汁好酸球検査：アレルギー性鼻炎かどうかを調べる検査
 - 2) 血液検査(RAST)：原因物質を調べるための検査
 - 3) 皮内テスト：原因物質を調べるための検査

3 花粉症の起こるメカニズム

I型アレルギー



抗原が鼻腔内に進入

→ 肥満細胞上の IgE 抗体と反応

→ 肥満細胞の活性化

→ 化学伝達物質が遊離

(ヒスタミン・ロイコトリエン)

○ヒスタミン

神経を刺激 → くしゃみ、鼻水

○ロイコトリエン

血管を刺激 → 鼻づまり

4 血管運動性鼻炎・アレルギー性鼻炎・花粉症

1) 血管運動性鼻炎

温度差アレルギー (下肢寒冷刺激で鼻汁分泌亢進、鼻粘膜拡張)

鼻汁中好酸球検査陰性、皮内テスト陰性、誘発テスト陰性

2) アレルギー性鼻炎

アレルゲンがあるもの

①通年性アレルギー：ダニ、ハウスダスト、カビなど

②季節性アレルギー：花粉、蛾など

③その他：犬、猫、鳥、ハムスターなどペットの毛や羽など

3) 花粉症

アレルゲンが花粉であるもの (季節性アレルギー)

5 季節と花粉 (アレルゲン)

花粉の種類	科	飛散する時期
ハンノキ	カバノキ科	1月中旬～3月上旬
スギ	スギ科	1月下旬～4月中旬
ヒノキ	ヒノキ科	2月中旬～5月下旬
コナラ	ブナ科	3月下旬～6月中旬
シラカバ	シラカバ科	4月下旬～6月中旬
カモガヤ	イネ科	5月中旬～7月下旬
イネ	イネ科	7月中旬～8月中旬
オオアワガエリ	イネ科	5月下旬～8月中旬
ブタクサ	キク科	8月初旬～11月中旬
ヨモギ	キク科	8月初旬～11月中旬

<環境省花粉情報サイト>

<http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/html/>

Ⅲ. 現代医学的治療

- 1 原因物質（アレルゲン）の除去
 - ・外出時の花粉用マスク、メガネ
 - ・外出を控える（花粉情報をキャッチ）
 - ・こまめに掃除
 - ・室内の空気は清浄に
- 2 薬物療法
 - ・抗アレルギー薬
 - 抗ヒスタミン薬・抗ロイコトリエン薬
 - ・ステロイド薬
- 3 減感作療法
- 4 手術療法
- 5 レーザー治療

Ⅳ. 花粉症を漢方ではどう捉えるか

- 1 寒証型
水様透明な鼻汁／鼻粘膜の色調は蒼白／身体の冷え
- 2 熱証型
鼻閉／粘稠性の鼻汁／鼻粘膜の色調は赤味を帯びる／咽頭痛／咽頭炎／結膜炎

Ⅴ. 漢方治療の実際

- 1 花粉症の症状に対して用いる漢方薬
 - 1) 寒証型
 - ①小青竜湯[19] (しょうせいりゅうとう)
第一選択薬／くしゃみ／水様性鼻汁／鼻づまり／胃腸が丈夫
→ 鼻水が甚だしい場合、附子末を加える、あるいは麻黄附子細辛湯を合方する
 - ②麻黄附子細辛湯[127] (まおうぶしさいしんとう)
顔色が悪い／からだ冷え／寒がり
 - ③苓甘姜味辛夏仁湯[119] (りょうかんきょうみしんげにんとう)
胃腸が弱い／麻黄を含む処方（小青竜湯・麻黄附子細辛湯など）で胃の具合が悪い
 - ④苓桂朮甘湯[39] (りょうけいじゆつかんとう)
眼症状（目のかゆみ・なみだ目）／めまい／胃腸が弱い

2) 熱証型

①葛根湯[1] (かこんとう)

鼻づまり／黄色鼻汁・膿性鼻汁／頭痛・頭重／胃腸が丈夫

②越婢加朮湯[28] (えっぴかじゆつとう)

眼症状 (結膜充血／目のかゆみ／なみだ目) → アレルギー性結膜炎
胃腸が丈夫／のどが渇く

③辛夷清肺湯[104] (しんいせいはいとう)

鼻閉／鼻の熱感と疼痛／膿性鼻汁／後鼻漏

2 体質改善に用いる漢方薬

体質改善薬と呼ばれる特定の漢方薬はない

→ ふだんから体調をよくする漢方薬を服用することが基本！

①当帰芍薬散[23] (とうきしゃくやくさん)

手足の冷え／むくみ／月経痛

②柴胡桂枝湯[10] (さいこけいしとう)

上腹部痛 (胃痛) ／胃腸虚弱／ストレスによる諸症状

③補中益気湯[41] (ほちゅうえっきとう)

疲れやすい／だるい／食後の眠気とだるさ／寝汗／胃下垂

3 漢方治療のメリット

1) 副作用が少ない

眠気や倦怠感が起こらない

2) 他の症状も一緒に改善できる

冷え、虚弱体質、胃腸虚弱など

3) 体質改善できるか？ (アレルギー体質からの脱却)

VI. 注意すべき副作用

①麻黄 (まおう)

・交感神経興奮 (中枢興奮)

狭心症の誘発／動悸／不眠／血圧上昇／排尿障害など

→ 高齢者では要注意！

・胃腸障害

②桂枝 (けいし)

・皮膚アレルギー (薬疹)

→ シナモンがダメな人は要注意！

③附子 (ぶし)

・胃腸障害／ほてり／舌しびれ／動悸など

→ 若年者 (陽証) では要注意！